

フォーラム・名古屋の棚田と 生き物たちを未来へ！

農水省「つなぐ棚田遺産」に
「名古屋の棚田群」として
選定！！

2017年4月から3か年にわたり実施した秦野市名古屋の自然調査は、2019年8月に最終報告が整いました。東海大学人間環境学科自然環境課程の北野忠・藤吉正明両研究室と、慶應義塾大学一ノ瀬友博研究室の調査により、植物252種、動物（クモなどを除く）586種、合計838種の生き物が確認されました。丹沢ドン会のフィールドとその周辺という限られたエリアにもかかわらず、これほど多数の生き物が生息する名古屋の自然の豊かさを実感する成果です。同時に、この地域で20年余にわたり丹沢ドン会が取り組んできた棚田の復元活動と、無農薬・有機の米づくりを始めとした食べものづくりが果たしてきた役割の大きさを再確認しました。里地・里山に人の手が入ることで豊かな自然が甦ったのです。名古屋の自然調査の成果は、『丹沢山ろく名古屋 棚田の生き物図鑑』（夢工房）として、2021年9月に刊行しました。

～「名古屋の自然調査」報告会～
2022年3月26日（土）
秦野市立本町公民館

丹沢ドン会
30周年記念
フォーラム

私たちの安全・安心な食べものづくりのあゆみと、生き物たちの多様性との共存は、名古屋に限らず、全国共通の課題です。また、このような伝統的な農村風景を次の世代へ引き継ぐことは、いまに生きる私たちが未来から託されたテーマでもあります。名古屋の自然の豊かさと、丹沢ドン会の棚田の復元・米づくり活動の関わりを広く市内外の人びとや子どもたちへ伝えたいと思います。下記により、フォーラムを開催します。多数参加くださいますよう、ご案内いたします。

2022年3月 NPO法人自然塾丹沢ドン会

* * *

日時：2022年3月26日（土） 13時～16時15分

会場：秦野市立本町公民館 大会議室（イオン秦野店に隣接） 定員：先着150名

共催：NPO法人自然塾丹沢ドン会・NPO法人神奈川県自然保護協会・秦野市 後援：秦野市農業協同組合

参加費：無料 事前申込制：3月23日締め切り。住所・氏名・電話番号、Eメールを添えて下記まで）

申込先：秦野市環境共生課【 ☎ (0463) 82-9618 Eメール：k-kyousei@city.hadano.kanagawa.jp 】

*新型コロナウイルスの感染予防対策に万全を期して参加してください。感染拡大の状況により延期する場合があります。

<プログラム>

第1部 名古屋 ありがとう！ これからも！ （13時～14時）

オープニング	フォルクローレ・ミニコンサート（木下尊惇）	13時～25分
あいさつ		13時25分～35分
棚田の復元と丹沢ドン会30年のあゆみ（岡進・丹沢ドン会）		13時35分～14時

第2部 名古屋の棚田と生き物たちを未来へ （14時10分～16時15分）

<調査報告> 名古屋の自然調査の成果とこれから（各20分）

名古屋の田んぼの植物	藤吉正明（東海大学教授）
名古屋の田んぼの生き物たち	北野忠（東海大学教授）
名古屋の棚田周辺の生き物たち	湯浅拓輝（慶應義塾大学一ノ瀬研究室 秦野生物多様性プロジェクト）

<フォーラム> 名古屋の自然を未来の子どもたちへ（60分）

内容：名古屋の里地・里山の現状と課題、「つなぐ棚田遺産」選定、未来の子どもたちへのメッセージ
パネリスト：藤吉正明・北野忠・湯浅拓輝・谷芳生（秦野市環境共生課長）・金田克彦（丹沢ドン会）
進行：片桐務（丹沢ドン会） <16時15分 閉会>

秦野の棚田 未来へ



米づくりが行われている名古木の棚田群（自然塾丹沢ドン会提供）

名古木「ポスト百選」認定

農林水産省が新たに企画した「つなぐ棚田遺産」に、県内から唯一、秦野市の「名古木の棚田群」が選出された。一時は荒廃し、1999年に認定された「日本の棚田百選」にも選ばれていなかったが、地元のNPO法人「自然塾丹沢ドン会」が復元に着手。『ポスト棚田遺産』の一つに先月認められ、同会は「未来に引き継ぐ準備ができた」と喜んでいる。（中村良平）

農家と連携 NPOが復元

棚田は、環境の保全や、農村景観の形成、伝統文化の継承などの価値がある。棚田百選で134地区が選ばれたが、その後、担い手不足や農家の高齢化で保全活動が難しい棚田も出てきた。今回、その価値を再PRしようと、「つなぐ棚田遺産」が企画され、全国の271の棚田が選ばれた。同棚田群は同市北東部の山間部にあり、1・75畝内に棚田が点在している。丹沢の自然保護を目的に92年に設立された同NPOが2002年、名古木の棚田群が低木や雑草で覆われているのを知り、地権者の了解を得て農家と連携して復元活動に着手。棚田は現在105枚まで拡大し、会員の130家族などがある有機・無農薬の米作りを行うほか、「丹沢自然塾」による農業体験を都市住民らに提供している。周辺の畑でも、無農薬の野菜やソバの栽培をするほか、雑木林の伐採、下草刈り、植樹による里山づくりも実施。会員は自ら収穫した米を炊き、そばを打ち、自然の恵みを味わっている。こうした活動の結果、当地に豊かな自然が残されていることもわかっていく。17年から3年にわたり、東海大と慶応大が行った調査の結果、名古木地区には植物252種、動物（クモなど）を除く586種が確認されたのだ。同NPOの片桐理事長（72）は今回の選定について、「丹沢の自然、秦野の棚田をたくさんの人たちが連携して守る励みになった」と語った。同NPOは26日、同市立本町公民館で報告会を開き、申し込みは市環境共生課（0463・82・9618）へ。

神奈川県秦野市

名古木の棚田群

「棚田の風景・生き物を今と未来の子供達へ！」

稲に色づく棚田 収穫の秋、黄金色に輝く棚田が風に揺れる

手作りの田植え定規で田植え 会費、地域の支援者が参加する収穫祭

所在地 神奈川県秦野市名古木670-1外 面積 1.75ha

法面の構造 土羽

力をいれている取組

農産物の供給の促進	—	良好な景観の形成	○
国土の保全、水源の涵養	○	伝統文化の継承	○
自然環境の保全	◎	棚田を核とした地域の振興	○

取組の内容

地域の農業者とNPO法人が連携のもと、棚田の維持・保全や「丹沢自然塾」による農業体験、自然体験など都市住民等との交流事業を通じて、生物多様性に富んだ農村の原風景を次世代につなぐ活動を実施

周辺施設情報

秦野市田原ふるさと公園 秦野市緑水庭

神奈川県秦野市田原999番地 0463-84-1281

神奈川県秦野市栗毛269番地 0463-82-9618

農林水産省「つなぐ棚田遺産
～ふるさとの誇りを未来へ～」
選定！！

名古木の棚田群

全国で271か所、神奈川県内では唯一の選定

1999年に選定された「棚田百選」全国134地区は、認定から20年以上を経過して、担い手の減少や農家の高齢化により従来のような保全活動が難しくなり棚田の荒廃の危機に直面。そこで、2022年2月、農林水産省では、棚田地域の振興に関する取り組みを積極的に評価し、地域の活性化や棚田の有する多面的な機能に対する国民の理解と協力を得ることを目的として、優良な棚田を「つなぐ棚田遺産」として認定しました。

名古木の棚田群は、NPO法人自然塾丹沢ドン会と地域の農業者の連携のもと、棚田の維持や「丹沢自然塾」による農業体験、自然体験など、都市住民等との交流事業を通じて、生物多様性に富んだ農村の原風景を次世代へつなぐ活動を実施しています。

丹沢ドン会は、1992年3月創立、本年3月、31年目を迎えました。

2022年(令和4年)2月19日 土曜日

神奈川県新聞

秦野

名古木が「棚田遺産」に

た。

同会では、一般市民にも米作りに参加してもらおう「丹沢自然塾」という仕組みを導入。農業者とNPO、都市住民との交流を通じて生物多様性に富んだ農村の原風景を次世代につなぐ活動などが評価された。

同会は、耕作放棄地となり荒れていた棚田の復元に2002年から着手。草が生い茂り、やぶになっていたのを会員が手作業で刈り取るなどして少しずつ復元してきた。現在は農家10軒が所有する棚田計40枚で、毎年米を収穫している。片桐理事長は「棚田に水を引き入れて米作りを続けることで、棚田周辺の雑木林などの生き物が豊かになる。都市から米作りの担い手を呼び寄せる方が評価されたこともうれしい」と話している。

耕作放棄地の再生実る

自然塾丹沢ドン会



「つなぐ棚田遺産」に選定された秦野・名古木の棚田（自然塾丹沢ドン会提供）

NPO法人「自然塾丹沢ドン会」（片桐理事長）が秦野市名古木で復元に取り組み、米作りを続けている「名古木の棚田群」が、農林水産省選定の「つなぐ棚田遺産」に選定された。

棚田遺産に県内から唯一選ばれた。片桐理事長は「棚田を継続的に守っていくモチベーションになる」と喜びをこみしめている。（石本 健一）

日に開講する。来年2月まで草取りや田植え、田500円が必要。定員30人。申し込みは、申し込みは丹沢ドン会のホームページから。